

脳卒中の早期発見及び予防に関するシンポジウム

目的

脳卒中は日本人の死亡順位4位で、死亡を免れても後遺症が残る可能性があり、今後の高齢化の進展により更なる発症者の増加が見込まれている。

そこで、脳卒中を発症しないように日頃から予防を行うこと、脳卒中の早期発見を行い効果的な治療に結びつけることが重要となる。

講演会を通じて、都民の脳卒中に関する理解の促進を図る。

開催概要

1. 開催日時
平成27年12月12日(土) 午後2時から午後5時まで
2. 会場
都庁第一本庁舎 5階大会議場
3. 対象者と募集定員
一般都民 400名

内容

1. 基調講演「脳卒中に関する現状と最新の治療法について(仮)」(50分)
 - (1)形式
虎の門病院 脳神経血管内治療科部長 松丸 祐司 先生による講演
 - (2)内容
脳卒中とはそもそも何なのか、最新の治療法の紹介
2. 「脳卒中を防ぐには(仮)」(50分)
 - (1)形式
杏林大学病院脳卒中センター 副センター長 平野 照之 先生による講演
 - (2)内容
脳卒中の予防の重要性、予防方法(食生活や運動等)の紹介

～休憩(20分)～
3. 「私の脳卒中体験談(仮)」(60分)
 - (1)形式
大橋 未歩さんによる講演
 - (2)内容
発症した時の状況と対応、その後の治療、発症したことで改めて感じたこと など